第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	防災訓練推進事業	事業番号	14-103		
	部名 部長名 課名				課等の長
事務事業担当	企画部危機管理担当	大山 剛	危機管理課		大山 剛

		計			(Plan)					
		まちづくり目	標 2	地域で助け合う安全で安心なまち						
総合計画体系	安心力	基本政策	4	災害に強い安全						
***日間四件求	女心刀	施策展開の方	7 7	災害から市民の	いのちを守るまちを	つくる				
		Ľ								
予算事業名	総合防災訓練事業費									
77774	自主防災活動育成事	F 業費			1	-				
事務区分 〔選択〕	自治事務	○ 法定受託事務	事務 (選択してください)ー		法令上の位置づけ	養務づけ規定がある				
事業開始年度	開始年度	В	召和54年度	~	終了年度					
関連法令等	災害対策基本法	·								
国・県の計画等	防災基本計画、社	災基本計画、神奈川県地域防災計画 計画期間								
関連個別計画	伊勢原市地域防	伊勢原市地域防災計画 計画期間 昭和49年~(平成26定)								
実施の背景 (事業を取りまく環境 ・市民ニーズ)	切迫性が指摘されている。力の向上に関する			フ巨大地震に対処	するためには、自主	- E防災会が主体的に地域防				
目 的 (何をどうしたいのか)	自助・共助・公助が一体となった総合防災訓練や、要援護者対策訓練を実施するとともに、災害時における住民選 難の実効性を確保するため、各種防災マニュアルの見直しを進めます。									
			,,,,,	/・*/加區UEXE®	, a, j, o					
主な対象 (誰・何を対象に)	市民、自主防災会	会、事業所、各種		協力協定事業者						
	・市域一斉方式にす。・防災行動や避難す。	こよる総合防災訓練	団体、災害時 練を実施する ※を高めるため	協力協定事業者 らとともに、自主防ジ う、防災マニュアル	等災会が主体的に行う					
(誰・何を対象に)	・市域一斉方式にす。・防災行動や避難す。	こよる総合防災訓練 推所運営の実効性 こ合わせて要配慮	団体、災害時 練を実施する ※を高めるため	協力協定事業者を あとともに、自主防炎 か、防災マニュアル を実施します。	等 災会が主体的に行う 及び避難所運営マ 年度	ニュアルの見直しを行いま				
(誰・何を対象に)	・市域一斉方式にす。・防災行動や避難す。	こよる総合防災訓練 推所運営の実効性	団体、災害時 練を実施する ※を高めるため	協力協定事業者 らとともに、自主防ジ う、防災マニュアル	等 災会が主体的に行う 及び避難所運営マ 年度	ニュアルの見直しを行いま				
(誰・何を対象に)	・市域一斉方式にす。・防災行動や避難す。	こよる総合防災訓練 推所運営の実効性 こ合わせて要配慮 項目	団体、災害時 練を実施する ※を高めるため	協力協定事業者を あとともに、自主防炎 か、防災マニュアル を実施します。	等 災会が主体的に行う 及び避難所運営マ 年度	ニュアルの見直しを行いま F度 令和2年度				
(誰・何を対象に)	・市域一斉方式にす。 ・防災行動や避糞す。 ・総合防災訓練に 総合防災訓練に	こよる総合防災訓練 推所運営の実効性 こ合わせて要配慮 項目	団体、災害時 練を実施する ※を高めるため	おおり協定事業者をあるとともに、自主防ない。 おい、防災マニュアルを実施します。 平成30年度	等 炎会が主体的に行う 及び避難所運営マ 年度 令和元 実施	*ニュアルの見直しを行いま F度 				
(誰・何を対象に) 事業内容 (手段、手法など)	・市域一斉方式にす。 ・防災行動や避糞す。 ・総合防災訓練に 総合防災訓練に	こよる総合防災訓練 推所運営の実効性 こ合わせて要配慮 項目 その実施	団体、災害時 練を実施する ※を高めるため	を実施します。 平成30年度	等 炎会が主体的に行う 及び避難所運営マ 年度 令和元 実施	F度 令和2年度 実施				
(誰・何を対象に) 事業内容 (手段、手法など)	・市域一斉方式にす。 ・防災行動や避糞す。 ・総合防災訓練に 総合防災訓練に 総合防災訓練	こよる総合防災訓練 推所運営の実効性 こ合わせて要配慮 項目 その実施	団体、災害時 練を実施する ※を高めるため	を実施します。 平成30年度 強時見直し	等 災会が主体的に行う 及び避難所運営マ 年度 令和元年 実施	F度 令和2年度 実施				
(誰・何を対象に) 事業内容 (手段、手法など)	・市域一斉方式にす。 ・防災行動や避難す。 ・総合防災訓練に 総合防災訓練に 避難所運営マ 要援護者対策	こよる総合防災訓練の実効性に合わせて要配慮 項目 で	団体、災害時候を実施する。を高めるためるためるため。者対策訓練	を実施します。 平成30年度 実施 ・実施	等 (交会が主体的に行う) なび避難所運営マ 年度 令和元年 実施 随時見証 実施	F度 令和2年度 実施				
(誰・何を対象に) 事業内容 (手段、手法など)	・市域一斉方式にす。 ・防災行動や避糞す。 ・総合防災訓練に 総合防災訓練に 総合防災訓練	こよる総合防災訓練 作所運営の実効性 こ合わせて要配慮 項目 でまた アニュアルの充実 計練の実施	団体、災害時 練を実施する ※を高めるため	を実施します。 平成30年度 強時見直し	等 災会が主体的に行う 及び避難所運営マ 年度 令和元年 実施 随時見証 実施	年度 令和2年度 実施 直し 随時見直し 実施				

							事	業実	施		(D	o)			
	事業の「取組方針」 大規模災害被害の最小化を図るためには、自助、共助、公助が一体的に取組む必要があり、役割分担に応じた防災訓練を実践する必要があります。ビッグレスキューかながわが本市をメーン会場として開催されるますので、こうした訓練を通じて国・県・防災関係機関等と連携体制の強化等を図ります。														
	● すべて直接実施 ○ 左記以外														
		実施	方法	□ 業務委託 □ 指定管理			委託先	計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
	〔選択・記入〕			□ 補助金				補助先							
				□ その他				具体の内容							
				項目				-	双击20年序			年度 令和元年度 令和2年度			
	実施結果			総合防災訓練の実施					平成30年度 実施		令和元年度 実施		ካ ተሀረ ተን	<u> </u>	
				避難所運営マニュアルの充実					随時見直し		随時見直し				
				要援護者対策訓練の実施						実施		実施			
				Δ∓n = h	二年で	<i>いが</i> レフナ	4~4×4×1	ったご吊いて、	吃 ## =	運営、要援護者	×+	[七 (() 目目 F5	日月 沙汁	の内容などで	ハブ旧
5	実施し	た取	紅組の内容			っことができ		フを囲して	吐来此刀	是呂、安 抜慶1	3 对心、		(7茂 美)	√	(一) (京
			【指標名】		【現料	現状値】 平成30年度		年度 令和元年度		令和2年度					
	目材	票の達	越状況	総合防災割	川練等 数	への参加者	7,00	00人9年度)		7,161人		6,500人		1714-17	
Н	年度			平成30年度 実績 令和元年度				元年度 実績	令和2年度 実績						
	事業費合計(a)				2:	.3 千円	3		1,328	千円			0	千円	
		国県支出金 ①					50 千円	3		442	千円			0	千円
	内	地	地方債 ②				0 千円	3	0			0 =			千円
	訳	その	0他特財 ③				0 千円	0			千円	0 =			千円
		(a	一般財源)-①-②-③			10	33 千円	3		886	千円			0	千円
	国県支出金の内容		出金の内容	神奈川県市	片町村	地域防災力勢	化事業	費補助金	(補助 ³	率1/3)					
1 =		の他	受益者負担	● 有		○ 無	前	回の改定	寺期						
スト		オの 容	その他												
	닜		正規職員	1.06	人	9,02	21 千円	1.06	人	9,222	千円	0	人	0	千円
	件費	そ	の他の職員	1.13	人	2,83	6 千円	1.06	人	2,809	千円	0	人	0	千円
			件費合計(b)	2.19	人	11,8	7 千円	2.12	人	12,031	千円	0	人	0	千円
		トータルコスト (a)+(b)				12,0	'0 千円	3		13,359	千円			0	千円
	174 		対定義象			市民	単位	<u>.</u>		市民	単位				単位
	当力		数対象数			1024	.6 人			102,248	人				
	総事業費/対象数			118			.8 円		131						円

	Ī	平(西	(Check)
進捗状況 〔選択・記入〕	計画どおり(A)●概ね計画どおり(B)計画どおり進捗せず(C)	В	左記 判断 理由	令和元年度ビッグレスキューかながわを通じて、自助、共助、 公助が一体となった防災対策の取組を確認することができました。
実施水準 〔選択・記入〕	●他市より高い水準で実施(A) ●他市と同水準で実施(B) ●他市より低い水準で実施(C) ー律に比較できない事業	В	他市事内等 等	令和元年度ビッグレスキューかながわの主会場を本市で開催をし、行政機関等との広域連携体制を確認することができた。
有効性 〔選択・記入〕	高い (A)普通 (B)低い (C)	А	左記 判断 理由	市単独では実施することのできない訓練等を行うことで、市民 の防災意識の向上が図られました。
効率性 〔選択・記入〕	効率的に実施されている (A)● 改善の余地がある (B)し 抜本的な改善が必要である(C)	В	左記 判断 理由	令和元年度ビッグレスキューかながわの教訓や経験を踏まえ、 地域住民だけでなく、防災関係機関との連携体制の確認を行う 必要があります。



		取糸	且内容	の改善(Action)
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	現状のまま継続● 見直しの上継続	事業推 進上の 課題	令和元年度ビッグレスキューかながわの教訓や経験を踏まえ、マンネリ化し参加者が減少しているといった課題がある従来の市域一斉方式の総合防災訓練について、開催方法を見直していく必要があります。
令和2	年度の取組方針			わで得た教訓や技術・知識を踏まえ、中央会場と地域会場を設け各地区を輸 をするとともに、大規模地震だけではなく、風水害を想定した防災訓練も実施
所管部	訓練の本来の目的を達成する の在り方を検討する必要があっ		総合防災訓練の実施方法の検討だけでなく、自主防災会を巻き込んだ訓練	